

歴博のめざすもの —博物館という形態の大学共同利用機関として—

日本の歴史と文化の研究

—未来を切り拓く歴史的展望の獲得と、歴史認識を異にする人々の相互理解を実現する—

博物館型研究統合の推進

—博物館という形態を活かした新しい研究スタイル—

共同利用性の充実

—研究資源・研究過程・研究成果を国内外の研究者と共有する—

新しい研究者の養成

—博物館型研究統合を担う人材—

日本の歴史と文化への理解の促進

—多様な歴史像と柔軟な歴史認識を国内外のすべての人々に提供する—

国立歴史民俗博物館は、日本の歴史と文化に関する研究を組織的かつ持続的に推進するために設置された大学共同利用機関である。その使命は、人類の歴史的営為が複雑に絡み合った現代社会において、未来を切り拓く歴史的展望の獲得と、歴史認識を異にする人々の相互理解の実現に寄与することにある。

歴博は、歴史資料・情報の収集、整理・保存、調査研究そして提供という一連の機能を有することを最大の特色としている。これらの機能を有機的に連携された博物館型研究統合によって、有形無形の多様な資料に基づき、文献史学・考古学・民俗学及び自然科学を含む関連諸学の学際的共同を通じて、現代的視点と世界史的視野のもとに、日本の歴史と文化に関する基盤的並びに先進的研究を推進する。大学共同利用機関として、そのすべての機能を国内外の研究者と共有するとともに、

に、次代を担う研究者を育成し、それらの活動を通じて広く国内外の人々に日本の歴史と文化への理解を促進する。

